政府機関のWEB改ざんについて

資料8

事例概況

✓ 本年４月、複数の政府機関ホームページが改ざんされ、当該ホームページの運用を停止せざるをえない事態が発生。
✓ なお、情報の漏えいやコンピュータウイルス等の感染は確認されていない。

■事例１（A省）
４月１１日（土）、NISCからの連絡により、ホームページ中の一部ページが改ざんされていたことが判明。１２日（日）から該当システムを停止させていたが、所要の対策を講じた後、２８日（火）に一部運用を再開。

■事例２（B省）
４月１３日（月）、NISCからの連絡により、地方支分部局中の一般には公開されていないホームページが改ざんされていることが判明。１３日（月）から該当システムを停止させていたが、安全確認後、１６日（木）に運用を再開。なお、当該改ざんについて、地方支分部局は４月７日（火）に把握していた。

事例から見えたこと

✓ 改ざんの把握から本省への報告、システム停止、原因究明・対策に着手するまで時間を要した

→ ・緊急連絡体制が土日に十分機能しなかった
・官房、システム管理部局等、複数の関係者にまたがる連絡系統
・技術的解析の蓄積、対応力の差異

緊急対応体制の再検証・見直しが必要ではないか

改善の方策（例）

✓ 改ざん等の把握から迅速な対策を講じるための体制の再確認、ルール（公開サーバの停止手順等）の徹底
✓ 土日の緊急連絡体制の再確認（危機管理意識の保持）
✓ サーバ、システムの集約（可能な限り管理を集約化）

システム管理のガバナンスを再検討